

1 受験票

出願時に入力された「志願者住所」宛に受験票（ハガキ）を送付します。
 受験票到着後速やかに記載内容を確認してください。なお、WEBによる合格発表・成績開示（121ページ参照）を希望する場合は、試験後も受験票控を大切に保管しておいてください。

(1) 本学独自試験方式

*宛名・受験票控・受験票は切り離さず、試験当日に持参してください。

【受験票に記載されている内容および注意事項】

座席番号...試験当日に着席する席を指定する番号です。[英数字 10桁（ハイフン除く）]
 着席した座席の番号に対して、ハイフンの前後の英字・数字ともに確実に照合してください。

受験番号...試験当日・合格発表および入学手続の際に使用する番号です。[数字 8桁]

氏名・住所・生年月日・性別
 志望学部・学科等
 試験日・入試方式・試験地 } 出願時に入力した内容と間違いがないかを確認してください。

試験会場...試験地によっては複数の試験会場を予定している場合があります。
 志願者数によっては試験地の変更や新規に会場を追加する場合があります。
 試験会場は受験票で必ず確認してください。
 なお、試験当日に試験会場等を間違えた場合は受験できませんので、注意してください。

受験票用の顔写真について
 受験票の到着後、速やかに「顔写真（肩より上・無帽・正面向き・3ヶ月以内に撮影のカラー写真・縦3cm×横2.4cm・裏面に氏名および座席番号を明記のこと）」を受験票の写真貼付欄に貼り付けてください。
 *試験中に眼鏡を着用する場合は、眼鏡着用の写真を貼り付けてください。
 *家庭用プリンタで普通紙に印刷した写真は不可とします。

受験票の発送について
 出願書類処理および受験票の送付には日数を要しますので、早めに出願してください。
 受験票の発送予定日

2月1日～4日実施の入学試験	1月25日（火）以降発送予定
2月7日～9日実施の入学試験	1月30日（日）以降発送予定
3月実施の入学試験	3月1日（火）以降発送予定

インターネット出願の登録で同時に複数方式や複数日に申し出ても、入試方式や試験日、試験地により発送日が異なるため、同日に届かない場合があります。試験日の3日前になっても未着の場合は、入学試験事務局(075-223-0760)へ連絡してください。
 紛失等の対応について
 受験票を紛失した場合、持参し忘れた場合は、試験当日に「仮受験票」を発行します。本学の係員や受験案内所に申し出てください。いずれの場合も、受験票で指定された試験会場以外では受験できません。また、顔写真を忘れた場合も同様に本学の係員や受験案内所に申し出てください。

! 受験票の注意点

注 受験票のレイアウトは、入試方式により異なる場合があります。

座席番号
 試験当日に使用します。着席する席を指定する番号です。（本学独自試験のみ）
 圧着ハガキになっていますので、左右から開いて中身を確認してください。

受験番号
 試験当日・合格発表・入学手続の際に使用します。

(2) 共通テスト方式

受験票の発送予定日

共通テスト方式（7科目型・5教科型・3教科型）	1月24日（月）以降発送予定
共通テスト方式（後期型）（5教科型・4教科型・3教科型）	3月4日（金）以降発送予定

受験票には、受験番号、志望学部・学科等、氏名、住所、入試方式等が記載されています。受験番号は、合格発表および入学手続の際に使用する番号です。受験票の発送予定日の1週間後になっても未着の場合は、入学試験事務局（075-223-0760）へ連絡してください。

《巻頭1～2「2022年度一般選抜における新型コロナウイルス感染症への対応」もあわせて確認してください。》

2 試験会場

(1) 試験会場の指定について

試験会場は受験票で指定します（受験生が試験会場を選択することはできません）。必ず受験票で試験会場を確認し、間違えないように注意してください。試験会場の詳細は109～120ページを確認してください。

(2) 下見について

下見の際、試験教室への入室はできません。
 試験日の前日であっても、他の入学試験や行事等を実施している場合があります。その場合は、係員の指示に従って他の入学試験や行事等の妨げにならないようにしてください。

3 試験当日の来場・入室などの諸注意

(1) 試験会場への来場について

原則、公共交通機関を利用してください。車・バイクでの入構はできません。交通機関の状況を考慮し、試験会場には余裕を持って到着するよう心掛けてください。
 特に指定のない限り、スリッパ等の履きは不要です。必要な場合は受験票に記載されています。
 試験会場には保護者等の控室はありません。
 試験会場または駅周辺で住宅案内の配布等をしている場合がありますが、本学とは一切関係ありません。

(2) 試験教室への入室・着席について

試験教室へは必ず各時限の集合時刻までに入室してください。午前9時頃より入室できます（試験会場によって多少前後することがあります）。
 机の上に座席番号シールが貼付されていますので、受験票を確認のうえ自分の座席番号に着席してください。自分の座席番号と異なる場所に着席した場合、受験を無効とする場合があります。

(3) 遅刻の扱いについて

個人的事由による遅刻の場合は、第1時限（「経営学部で学ぶ感性＋共通テスト」方式は第3時限）に限り、試験開始後20分以内に受験案内所に到着すれば受験を認めます。遅刻した場合は受験案内所に申し出てください。なお、第2時限以降の遅刻は一切認めません。
 人身事故等による公共交通機関（バス・タクシーを除く）の遅れや自然災害などの不可抗力による遅刻の場合は、受験を認める場合があります。遅刻の恐れがある場合は集合時刻までに受験票に記載されている「試験当日の緊急連絡先」もしくは「入学センター」の電話番号（075-465-8351）に各自で電話をして、状況を連絡してください。なお、公共交通機関の大幅な遅れなどにより、試験当日、多くの受験生に影響があると本学が判断した場合は、試験開始時刻を繰り下げることがあります。ただし、それによって生じた受験生の個人的費用や損害については、本学は一切責任を負いません。
 受験できなかった場合の入学検定料は、原則として返還しません。

(4) 試験会場等の間違いについて

受験票に記載された試験会場でのみ受験できます。
 試験地、試験会場の間違いによる他会場での受験は一切認めませんので、十分注意してください。

! 受験案内所

試験当日は試験会場に「受験案内所」を設置します。受験票や顔写真を忘れた場合や、試験教室の確認、遅刻、その他相談などがあれば申し出てください。仮受験票の発行も「受験案内所」で行います。

4 集合時刻および試験開始時刻

	第1時限	第2時限	第3時限		
			全学統一方式 理系型3教科方式 学部個別配点方式(文系型) 薬学方式	学部個別配点方式(理科1科目型) 学部個別配点方式(理科2科目型)	「経営学部で学ぶ感性＋ 共通テスト」方式
集合時刻 - 説明・問題配付	10:00	12:55	15:05	15:25	15:45
試験開始時刻	10:20	13:10	15:20	15:40	16:00

*「経営学部で学ぶ感性＋共通テスト」方式は、第3時限のみ試験を実施します。

5 試験当日に持参するものおよび使用許可物件について

(1) 持参するもの

- 受験票(写真貼付のこと)
- 筆記用具(詳細は以下「(2)使用許可物件」参照)
- 時計(詳細は以下「(2)使用許可物件」参照)
- 昼食(各自持参のうえ、自席で昼食をとってください)
- マスク(写真照合時や昼食時以外、常時着用してください)
- 一般選抜入学試験要項(本冊子) *試験中には使用しませんが、持参をお勧めします。

(2) 使用許可物件

試験中に使用を認めるもの	試験中に使用を認めないもの 例
<ul style="list-style-type: none"> 筆記用具 HBの黒鉛筆(鉛筆キャップを含む)もしくはシャープペンシル 消しゴムとケース 鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除きます) シャープペンシルの替芯(HB)とケース 時計(秒針音のするものや大型のものを除きます。また携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)、キッチンタイマー、ストップウォッチなどを時計として使用することはできません。ストップウォッチ機能の使用は認めません。なお、アラーム機能が付いている場合には必ず解除してください) マスク 	<ul style="list-style-type: none"> 和歌や格言等が記載された筆記用具 マーカー、カラーペン、色鉛筆、万年筆、ボールペン、筆箱など 定規、コンパス、下敷き、グラフ用紙など そろばん、電卓、翻訳機、計算機およびそれらの機能を持つ時計、ストップウォッチなど 携帯電話等の通信機器、ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)、電子辞書、ICレコーダーなど 耳栓、サングラスなど

(3) その他

- 試験教室内では携帯電話・ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)等は必ず電源を切ってください。各時限に電源がOFFになっているかを確認します。
- 試験時間中の飲食は禁止します。ペットボトルなどを机の上に置くことはできません。
- 試験当日は、文字や地図が印刷されている衣類等は着用しないでください。着衣に英単語や漢字などの文字や地図が印刷されている場合、脱衣・裏返しなどの指示をすることがあります。
- 以下のものは、条件付きで試験中に使用することを許可します。なお、使用の際には、不正行為防止のため、監督者が点検することがあります。使用の際にかかる時間分の試験時間延長は行いません。
- ティッシュペーパー.....袋から取り出した状態で机の上に置いておくこと。
 - 帽子.....写真照合の際には外すこと。
 - ハンカチ・ハンドタオル.....試験開始前に机の上に置いておくこと。なるべく無地で、文字や地図が印刷されていないもの。
 - ひざ掛け・座布団.....なるべく無地で、文字や地図が印刷されていないもの。
 - 薬・目薬.....試験開始前に机の上に置いておくこと。服用・使用の際は挙手のうえ、監督者立会いのもとで行うこと。ただし、薬を服用の際は、一時退出して行うこと。
 - 飲料(水分補給).....監督者の許可がない限りかばんの中に入れておくこと。水分補給する際は挙手のうえ、監督者立会いのもとで一時退出して行うこと。

6 試験時間中の諸注意

- 試験時間中(説明開始から終了後の退出まで)は、試験監督者、係員の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。
- 第1時限(「経営学部で学ぶ感性+共通テスト」方式は第3時限)の集合時刻までに机の上に受験票を置いてください。「受験票(写真貼付)」は回収します。回収後および第2時限以降は、「受験票控」を机の上に置いてください。また、「受験票控」は合格発表時の受験番号控となりますので、大切に保管してください。
- 試験開始までに試験問題・解答用紙を配付しますが、監督者の指示があるまで開いてはいけません。
- 受験にあたっての諸注意が問題冊子の表紙(学部個別配点方式の「理科」は別紙)に記載されています。試験開始までに、必ず熟読してください。
- 学部や入試方式によっては、文文学部の「国語」「選択科目」や理学部での「理科」において科目指定や科目選択の制限がある場合があります。出願前に必ず確認し、試験の際にも必ず問題冊子の表紙を確認し、間違いのないように注意してください。間違えた場合は、受験が無効となります。
- 時限ごとに「写真照合」を行います。本人と判断しづらい場合は、試験終了後に写真撮影を行うことがあります。
- マークシート解答用紙にはあらかじめ「座席番号」が印字してあります。配付されたマークシート解答用紙が自分のものであるかを必ず受験票で確認してください。
- 試験時間中の退室は原則として認めません。試験中に気分が悪くなった場合には、一時退室を許可することがありますが、その間の試験時間は保障しません。
- 解答用紙は試験終了後、監督者の指示に従って必ず提出してください。1科目でも解答用紙を提出しなかった場合は、受験が無効となります。

7 不正行為

- (1) 次のことをすると不正行為になります。不正行為を行った場合は、それ以後の受験はできなくなり、すでに受験した当該年度の入学試験も含め「全ての科目の成績を無効」とします。また、それ以後の当該年度の受験は認められません。なお、入学検定料は返還しません。

- 志願者情報、受験票、解答用紙へ故意に虚偽の記入(受験票に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・座席番号を記入するなど)をすること。
- カンニング(試験の科目に関するメモやコピーなどを机の上等に置いたり見せたりすること、参考書の内容や他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
- 他の受験生に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。
- 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験教室から持ち出すこと。
- 解答用紙を試験教室から持ち出すこと。
- 試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたこと。
- 試験時間中に、定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- 試験終了の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。

- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となる場合があります。本学の指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、(1)と同様です。

- 申請書類等に事実と異なる記載をすること。
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)等の電子機器類や、定規、コンパス、電卓等の補助具、参考書をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたり机の上や下(棚)に置いておいたりすること。
- 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- 試験に関することについて、自身や他の受験生を利するような虚偽の申し出をすること。
- 試験場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。
- 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

8 マークシート記入上の注意事項

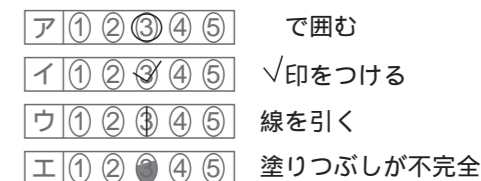
HBの黒鉛筆(シャープペンシルの場合は0.5mm以上の芯のもの)で、記入枠の中の「だ円」を完全に黒く塗りつぶしてください。マークが不完全な場合、解答が正しくても正解と判定されませんので注意してください。

正しい例



たとえば「3」と解答したい場合は、左記のように解答欄の③を完全に黒く塗りつぶしてください。

悪い例 下記のような記入はしないでください。



一度記入したマークを訂正する際は、消しゴムで丁寧かつ完全に消してから、記入し直してください。下記のように×印を記入しても訂正したことにはなりません。



解答用紙は折り曲げたり、破ったり、汚したりすることのないよう丁寧に取り扱いってください。

9 その他の注意事項

(1) 受験環境

- 試験時間中に日常生活騒音等(監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打ち合わせなど、航空機・自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験生の咳・くしゃみ・鼻をすする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置は行いません。
- 試験時間中に携帯電話や時計などの音・振動が発生し、発生源のかばんなどが特定できた場合、持ち主の同意なく監督者が試験教室外に持ち出し、試験本部で保管することがあります。
- 机、椅子、空調などの試験会場(試験教室)による条件の違いは一切考慮しません。
- 他の受験生が迷惑に感じる行為を行っていると感じた場合、別室受験を求めることがあります。